

## 上方漫才

### 上方漫才

かみがたまんざい

### 分野／部門

無形文化財／芸能〔演芸〕

### 保持者

夢路いとし・喜味こいし

### 紹介



「まんざい」という名称は、千年も万年も家人の長寿繁栄を予祝する祝福芸である「千秋萬歳(万歳)」とされている。現代の「漫才」は「萬歳」からの流れをそのまま受け継ぐものではないが、現在の「しゃべくり」を中心とした形態をとるようになってからでも、およそ100年を経過している。この話芸は、大阪で生まれ、その魅力から東京をはじめ全国に広まり、多くの「笑い」を通じて、市民生活に欠くことのできない「潤い」をもたらし続けてきた。

夢路いとし(本名:篠原博信、大正14年3月27日生まれ、横浜市出身)・喜味こいし(本名:篠原勲、昭和2年11月5日生まれ、横浜市出身)の両名は、およそ60年の長きにわたり兄弟コンビとして「上方漫才」の保存と振興に尽力されてきた。いわゆる「家庭もの」を中心とした漫才は、巧妙な話術と間・ま・の活用によって、「漫才の教科書」ともいわれ健全な笑いを提供し、「上方漫才」の伝統を正しく体現したものであり、未来に継承すべきものと思われる。また、「いとこい一座」を結成し、大阪府民劇場の催しとして、各地において、漫才を主体とした演芸バラエティショーを公演するなどして、漫才の普及に努めるとともに、出演者の技芸の錬磨のみならず、若手の育成にも尽力してきた。

平成24年2月指定解除。

### 受賞歴

昭和42年(1967) 文部省芸術祭 奨励賞

昭和46年(1971) 第8回放送批評家懇談会 ギャラクシー賞

昭和48年(1973) 大阪府民劇場賞 優秀賞

昭和 56 年(1981) 第 16 回大阪市民表彰 文化功労賞  
昭和 61 年(1986) 昭和 61 年度大阪芸術賞  
平成 5 年(1993) 平成 4 年度第 43 回芸術選奨 文部大臣賞、秋の紫綬褒賞  
平成 10 年(1998) 秋の叙勲 勲四等旭日小綬章

#### 参考文献

三田純市『昭和上方笑芸史』(學藝書林 1993 年)  
秋田実『大阪笑話史』(編集工房ノア 1984 年)  
相羽秋夫『上方漫才入門』(弘文出版 1995 年)  
足立克己『上方漫才史』(東方出版 1994 年)  
井上宏『まんざい—大阪の笑い—』(世界思想社 1981 年)  
古川嘉一郎ほか『上方笑芸の世界』(白水社 1984 年)